

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京・iスマートビジネス専門学校
設置者名	学校法人 小倉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	ビジネスコミュニケーション学科	夜・通信	400時間	80×3 240時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で実務経験教員の授業のチェック欄あり（掲載： <a href="https://tisb.ac.jp/information/">https://tisb.ac.jp/information/</a> ）
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京・iスマートビジネス専門学校
設置者名	学校法人 小倉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事業報告書4ページ役員・教職員の概要に記載 (<https://tisb.ac.jp/information/>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	H30.1.13 ～H34.1.12	法務
非常勤	株式会社元役員	H30.1.13 ～H34.1.12	法人運営のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京・iスマートビジネス専門学校
設置者名	学校法人 小倉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>											
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  ビジネスマネジメント学科 午前部・午後部 (3年制)</p> <p>【作成について】                  各授業科目については、毎年度、教務担当者により授業科目の設定・講義内容について、の検討・検証に基づき、各授業を担当する教員により、作成を行っている。</p> <p>【公表時期について】 年度末までに作成しHP上に公開する</p>											
授業計画書の公表方法	掲載： <a href="https://tisb.ac.jp/information/">https://tisb.ac.jp/information/</a>										
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>											
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則・細則において、学内の成績評価、履修、について規定している。                  授業科目の試験(レポート含む)により成績評価を行っている。</p> <p>(参考)                  学則第10条(成績評価)                  第10条 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時間数の8割に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p> <p>(評価及び評定)                  細則第7条 学科評価及び評定</p> <p>(1) 試験により学習評価を行う。</p> <p>(2) 各教科及び進級試験、卒業試験の合格は100点満点で60点以上とする。</p> <p>(3) 各学科目の出席時数が授業時間数の8割に達しない者は、教科の成績を記録しない。但し、補習等により、必要な時数を補った場合は、成績を記録する。</p> <p>(4) 各教科の修了認定と評価、評定は次のとおりとする。</p> <table border="0"> <tr> <td>評価</td> <td>100点～90点</td> <td>89点～80点</td> <td>79点～70点</td> <td>69点～60点</td> </tr> <tr> <td>評定</td> <td>AA</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table>		評価	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	評定	AA	A	B	C
評価	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点							
評定	AA	A	B	C							
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>											

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目(全科目)の成績得点を合計し、その平均点を算出する。 (100点満点)</p> <p>算出した得点から下記の指標の成績分布人数を求める。</p> <p>指標の数値    100～90点                   89～80点                   79～70点                   69～60点                   59～50点                   49～</p> <p>下位1/4に該当する人数と指標の数値を記載する。また、成績順位一覧表も作成し、下位学生の指導を行う。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPに掲載： <a href="https://tisb.ac.jp/information/">https://tisb.ac.jp/information/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(修了、卒業の認定)</p> <p>本校は、社会人として必要なビジネスに関する専門知識を教授し、外国人に対して日本語を教授することができる知識の習得と人間力を養うことで、グローバル化する我が国において外国人とコミュニケーションを取りながらビジネスができる人材を育成することを目的としている。</p> <p>進級卒業要件について、全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細は学則細則、学生便覧に記載している。</p> <p>進級および卒業の認定に関する方針をHPに公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HPに掲載 ( <a href="https://tisb.ac.jp/information/">https://tisb.ac.jp/information/</a> )

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京・iスマートビジネス専門学校
設置者名	学校法人 小倉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月に最新情報をHPで公開している。 <a href="https://tisb.ac.jp/information/">https://tisb.ac.jp/information/</a>
収支計算書又は損益計算書	同 上
財産目録	同 上
事業報告書	同 上
監事による監査報告（書）	同 上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務 専門課程	ビジネスコミュニケーション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2400 単位時間/単位	2120 単位時間/単位	280 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		92人	90人	6人	8人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3に記載した内容を参照
学修支援等
（概要） 学生支援スタッフを置き、様々な相談（授業内容の質問対応、学費、ビザなど）が出来る環境を設けている。また、クラス担任による資格取得のサポートを行い、就職活動に向けて、多くの資格取得ができるように積極的な学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等) 販売・営業、事務、パソコン活用事務など			
(就職指導内容) 履歴書の作成、エントリーシートの作成、小論文作成、マナー講座、面接練習			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日商簿記、ビジネス能力検定、情報処理能力検定、日本語能力試験			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	9人	17.6%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、ビザ更新不可、進路変更（就職）		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任と個人面談を行い、学習面・生活面の不安などの相談を聞き取る。遅刻や欠席の場合には、原因の把握を行い出席状況の改善につなげる。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ビジネス コミュニ ケーショ ン学科	100,000 円	7000,000 円	40,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について学校HPに公開している <a href="https://www.tisb.ac.jp/information/">https://www.tisb.ac.jp/information/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、関連する企業・団体、卒業生など、学校と密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携協力体制を確保するため、業界関係者、卒業生、学校関係者から選任した委員による「学校関係者評価委員会」を設置し、次年度以降「学校関係者評価」を実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPにて自己評価報告書掲載 <a href="https://www.tisb.ac.jp/information/">https://www.tisb.ac.jp/information/</a>
--

